

# 調布市における空き家流通促進モデルの構築(東京都調布市)

課題と目的	首都圏においても増加傾向の空き家予防の課題を背景に、「空き家の新たな市場流通の可能性」について、市場価値の高い首都圏ならではの長所を活かし、空き家の発生抑制に着目した地域特性に基づくプラットフォームの構築を目指す。
取組内容	新たな流通促進の推進と利活用の可能性を検討し、行政をはじめ、地域のインフラを担う各事業者と共に検討と協議を重ね、具体的な構想を策定。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3者の情報共有を目的とした委員会組織の構築。実施協定の締結、共通ルールの作成など。</li> <li>・追跡調査、不動産基礎調査等により、検証事例の発掘及びアプローチ手法の設計を実現。</li> </ul>

## 1. 事業構築ステップ案

### (新たな情報共有体制と連携構築に向けた取組)

- ⇒ 今後の事業に向けた課題は、出来上がった仕組み「流通モデル構築委員会」において扱う空き家数の増加及び流通への復帰率向上である。
- 事業全体では、本年度を含み3年を全期間としてステップを設定。
  - 1年目は先進事例研究からのモデル構築。2年目で実証実験をテーマとして位置づけ、3年目で現在のスキームの本格展開へ進むプランを策定した。



## 2. 2020年度アクションプラン

本事業は、最終的に民間事業者による空き家の抑止を目指す

### 【2020年度事業のポイント】

- 2020年度アクションプランにおいては、2019年度までに完成したスキームでの本格的な展開を模索する。
- 本格展開では、各主体から委員会に候補空き家データ及び復帰率向のための施策ノウハウを集約し、復帰数及びモデル事例の創出を目指す。

